

## 第96回 記者懇談会実施概要

- 1 日 時 2014年4月16日(水) 15:00～17:00  
2 場 所 関西大学千里山キャンパス 100周年記念会館 第2会議室  
3 内 容

(1) 研究発表・質疑応答(15:00～16:00)

- ・村上 幸隆 法務研究科教授

発表テーマ「中国における強制連行をめぐる訴訟と日本企業への影響」

- ・川口 寿裕 社会安全学部教授

発表テーマ「群集事故の解析と防止に向けたコンピューター・シミュレーション」

(2) 学内状況説明・情報交換(16:00～17:00)

- |                                    |      |
|------------------------------------|------|
| ① 創立130周年記念事業計画について                | 資料1  |
| ② 商学部産学連携科目『次世代後継者のための経営学』の開講について  | 資料2  |
| ③ トップスケーター応援感謝会の開催について             | 資料3  |
| ④ アスリートのための「冷凍お餅」販売開始について          | 資料4  |
| ⑤ ナレッジキャピタル1周年記念イベントへの参画について       | 資料5  |
| ⑥ 平成26年度関西大学おおさか文化セミナーの開催について      | 資料6  |
| ⑦ 関関同立法学部合同シンポジウムの開催について           | 資料7  |
| ⑧ 平成25年度学生生活実態調査報告書の発行について         | 資料8  |
| ⑨ 平成26年度教育後援会総会・学部別教育懇談会の開催について    | 資料9  |
| ⑩ 関大生の活躍について                       | 資料10 |
| ⑪ 高等部の平成26年度スーパーグローバルハイスクールの指定について | 資料11 |

4 大学側出席者

楠見晴重学長、黒田勇副学長、西村枝美学長補佐、  
村上幸隆法務研究科教授、川口寿裕社会安全学部教授、  
矢田勝俊商学部副学部長、辻勝也高等部教頭、  
松並久典総合企画室次長、中川雄弘広報課長、宮武明生学長課長 他

5 参考資料

- (1) 関西大学通信 第430号、第431号
- (2) 関西大学特別公開講座 チラシ
- (3) 関西大学大阪都市遺産研究センター・大阪くらしの今昔館 連携企画 チラシ
- (4) 関大スポーツ SEASON SCHEDULE 2014(4月～7月試合日程)
- (5) 行事予定表(4月～5月)

以上

【次回(第97回)記者懇談会開催予定】

日 時: 2014年6月4日(水) 15:00～17:00  
場 所: 千里山キャンパス 100周年記念会館 第2会議室

2014年4月

## 中国における強制連行をめぐる訴訟と日本企業への影響

関西大学法科大学院教授／弁護士 村上幸隆

### 【概要】

- 1 中国において、戦時中の強制連行・強制労働を原因とする中国人労働者からの損害賠償請求訴訟が最近相次いで提訴されている。これについて、中国の人民法院（日本での裁判所に相当）は、この事件を「受理」という決定をしている。
- 2 日本における報道や意見を見ると、日本の戦時中の行為についての戦後賠償（補償）をめぐる問題、現在の日中間の良好とはいえない関係、中国の政治的な動きとの関係などと絡めて、さまざまな報道や意見がなされている。
- 3 しかし、そうした側面はあるとしても、こうした問題を考える前提として、政治的な面や、人道的な面から一步距離を置いた法律的な観点（特に、国際私法、手続法（民事訴訟法）、実体法（民法））からの検討という、冷静・客観的な報道・意見というものが少ないように思われる。
- 4 今までにこの問題について日本の裁判所でどのような判断がなされたか、それから、今回の中国での提訴の法的問題点がどこにあるのかを踏まえた上で、現に中国において活動している日本企業にとってどのような問題が生じるのかについてコメントしたいと思っている。

### 【プロフィール】

1954年京都市生まれ。1978年大阪市立大学法学部卒業、同年京都市役所勤務。1982年司法試験合格（第37期）、1985年4月弁護士登録（大阪弁護士会）。2007年関西大学法科大学院特別任用教授、2012年～関西大学法科大学院専任教授。現在、日本弁護士連合会国際交流委員会副委員長。専門は、中国法、国際私法。主な著書は、『新訂・遺言と相続対策』（共著）、『中小企業法の理論と実務（第2版）』（編著）『日中対訳 中国会社法法令集』、『日中対訳 中国労働関係法令集』、『逐条解説 中国契約法の実務』（編著・2004年）等。趣味は、鉄道、クラシック音楽、NFL、将棋。

## 群集事故の解析と防止に向けたコンピューター・シミュレーション

社会安全学部 教授 川口寿裕

### 【概要】

正月の初詣や夏の花火大会などでは、時に数十万人の人が一カ所に集まることがある。海外の宗教行事などでは、数百万人が一同に会することも少なくない。このような場所では、些細なきっかけで群集事故が発生し、多くの人命が奪われる危険が潜んでいる。日常的にも、ラッシュアワーの駅や電車内、セール時のデパート、スポーツ観戦など、非常に混雑した場面は多い。これらの場所で地震や火災が発生すると、やはり群集事故に発展する可能性が高い。

本発表では、2001年の明石市民まつり花火大会歩道橋事故をはじめ、過去に発生した群集事故事例から、どのような場所・状況が危険なのか説明する。さらにはそれらの教訓から、事故防止のために必要な対策について述べる。

群集事故が発生しても、人を使った再現実験は安全性の面から実施できないため、事故の詳細を調べるのは難しい。このようなとき、コンピューター・シミュレーションが威力を発揮する。発表者は機械工学の出身で、主に粒子（例えば菓の錠剤や米などの食品等）の挙動をコンピューター・シミュレーションする研究を行ってきた。現在、その手法を歩行者流れに適用し、群集事故解析に役立てるべくモデルの開発を行っている。本発表では、モデルの概略に関して、特に粒子を歩行者に見立てるために必要なモデル化に重点を置いて説明する。また、本手法の適用可能性について、これまでの成果を示しながら、展望を述べる。

### 【プロフィール】

1966年 大阪府生まれ。関西大学社会安全学部 教授。専門は群集安全学。大阪大学工学部産業機械工学科卒業、同大学大学院工学研究科産業機械工学専攻博士前期課程修了。大阪大学工学部 助手、学内講師、准教授を経て、2010年4月の関西大学社会安全学部創設時に准教授として着任、2014年4月より現職。博士（工学）。趣味はゴルフ、スポーツ観戦（特に野球）。